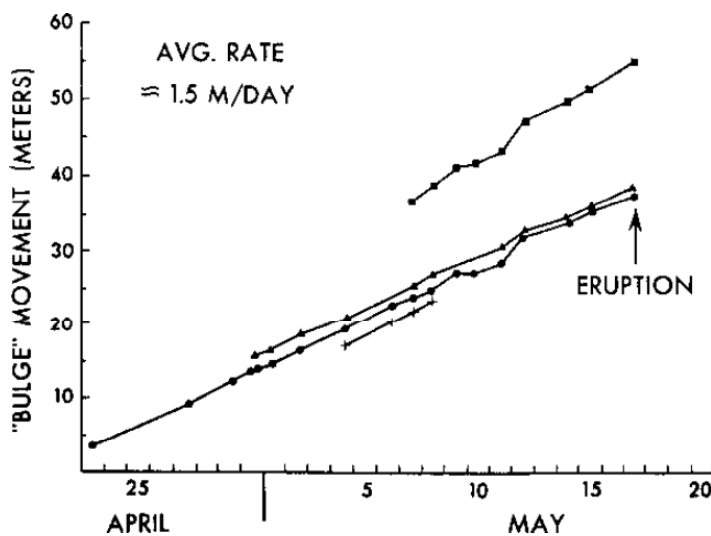


山体崩壊が予知できたかもしれない例

Mt. St. Helens, 1980年5月18日の山体崩壊

藤井敏嗣
(NPO法人 環境防災総合政策研究機構)

Mt. St. Helens, 1980年噴火 大規模噴火前の山体変形



- ・1日当たり1.5mの速度で山体がせり出し、3月27日の噴火開始以降、5月18日の噴火直前までに最大55mせり出した
- ・増加体積は1億1千万立方m
- ・地すべり開始直前まで変形速度に変化なし

変形開始から破壊までには一定程度の時間的余裕はあると思われるが、どの時点で避難決断をするか。